

動物実験に関する自己点検・評価報告書

(平成 2 8 年度)

明治国際医療大学

平成 30 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☐ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☒ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
明治国際医療大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
おおよそ文部科学省基本指針に則した機関内規程が定められているが、「人と動物の共通感染症に係る知識の習得等」の項目追加が必要。
4) 改善の方針、達成予定時期
早急に規定を改定する（準備中）。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
明治国際医療大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
文部科学省基本指針に則した動物実験委員が設置されている
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
明治国際医療大学動物実験規程、動物実験マニュアル、動物実験計画書作成要項、動物実験計画書（様式 1）書き方例

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認、報告結果の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
明治国際医療大学組換え DNA 実験規程、動物実験施設利用内規
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
組換え DNA 実験に関する学内規程が定められ、実施体制が整備されている。 本学では、病原体の感染動物実験および放射性物質を用いた実験は認めていない。 有害化学物質の投与動物実験に該当する実験は行われていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
実験動物飼養保管施設管理者名簿、動物実験室責任者（管理者）名簿、 飼養保管施設設置承認申請書、動物実験室（設置・変更）承認申請書、 動物実験委員会議事録、動物実験施設紹介資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
機関内における実験動物の飼養保管施設および動物実験室が把握されており、各飼養保管施設に飼養保管施設管理者（実験動物管理者）、各動物実験室に実験室責任者（管理者）が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 明治国際医療大学動物実験委員会規程、動物実験委員会委員名簿、委員会議事録、 教育訓練の記録（研究、学生実習）、動物飼養保管施設・動物実験室視察報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画の審査、教育訓練の実施、施設の視察等が行われており、委員会の役割を十分果たしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 明治国際医療大学動物実験委員会規程、動物実験委員会委員名簿、委員会議事録、 動物実験計画一覧、提出様式、動物実験従事者登録番号表
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 28 年度について、動物実験結果報告書（様式 3）22/22 件、動物実験終了報告書（様式 4）、 17/17 件、実験動物の使用・飼養報告書（様式 8）22/22 件、動物実験の自己点検票（内規様式 D） 22/22 件が提出されており、動物実験規程および義務等の周知徹底がなされ、良好な自主管理体制が維持されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

引き続き、動物実験規程の周知徹底に努め、提出時期には繰り返し依頼の連絡を行う。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

安全管理を要する動物実験（遺伝子組換え実験を含む動物実験）計画書一覧、
動物実験施設利用内規

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

遺伝子組換え動物を用いた動物実験は安全かつ適切に実施されている。
（有害化学物質投与実験は実施されていない。本学では病原体の感染実験および RI の投与実験は許可されていない。）

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験施設利用内規、各飼養保管施設利用マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

管理者および各飼養保管施設管理者の活動は適切であり、かつ飼養保管は動物実験施設利用内規および各飼養保管施設利用マニュアル等により適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験施設利用内規、各飼養保管施設利用マニュアル、動物実験施設視察報告、 管理記録（微生物モニタリング記録、環境測定記録、入退出記録、修理・点検記録、等） 実験動物飼養保管状況の自己点検票（内規様式 E）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
動物実験施設利用内規や各飼養保管施設利用マニュアルに基づき適切な飼養保管が行われて いる。年 2 回の微生物モニタリングが行われ、平成 22 年度以降に感染事故は起こっていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果
☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験に関わる教育訓練の実施記録（研究、学生実習）、教育訓練資料、 動物実験従事者登録番号表
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
文部科学省基本指針および実験動物飼養保管基準に則した教育訓練が概ね実施されているが、 「人獣共通感染症」に関する内容の不十分である。
4) 改善の方針、達成予定時期
教育訓練の人獣共通感染症に関する内容を充実させる。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
明治国際医療大学ホームページ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験に関する情報は本学ホームページ上で平成 22 年度より公開している。

平成 25 年度より自己点検・評価を行い、その結果および外部検証結果を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）